

豊後大野市

第28号

豊後大野市農業委員会
令和5年3月1日

農業委員会だより



一年の実に
感謝!



なか
(株) 菜花ファームでは、昨年
11月に約18ヘクタールの大豆の
収穫作業を行いました。

植付けた品種は「すすおとめ」
と「フクユタカ」です。

左の写真は、ドローンで農薬散布
作業を行っている風景で、スマート
農業を実践しています。

大豆は水田活用を推進する対象作物で、国や県が増産を目指しており、主に豆腐や
納豆等へ加工されています。

「明日の農政を考える集い」を開催

令和4年度 明日の農政を考える集い



農業委員会による意見・要望書の集約



令和5年度 豊後大野市農政施策に関する要望の決定



市長へ「要望書」の提出

昨年9月15日「令和4年度明日の農政を考える集い」を開催しました。

この会は、「農業委員会等に関する法律」の規定に基づき、市に対する農政施策に関する要望を行うため、農業の最前線で活躍されている方々の的確で建設的な意見要望等を事前に集約することを目的に毎年開催しているものです。

今回は、集落営農法人連絡協議会の代表者等と「地域農業を続けていくには」をテーマに開催し、活発な議論が交わされました。

市へ農政施策に関する要望書を提出

昨年10月17日、「令和5年度豊後大野市農政施策に関する要望書」を市長へ提出しました。これは農業委員会が農業の現場と地域に根ざした組織として、地域農業の最前線で活躍されている個人や団体の意見・要望等を集約し、次年度の農政施策への提言として、毎年、予算編成時に「要望書」を提出しているものです。

特に農村の高齢化に伴う農地の荒廃が進んでいることから、農地集積および集落営農のあり方などを強く要望しました。



令和5年度

豊後大野市農政施策に関する要望書の内容

1. 農地対策

- (1) 農地集積の支援策等について

2. 農村対策

- (1) 鳥獣害対策の継続的な支援について

3. 担い手対策

- (1) 集落営農のモデル地区の策定について
- (2) 週末農業塾の開催について

豊後大野市下限面積情報

農地を売買・贈与・貸し借りしたりする場合には、農地法第3条の規定に基づく農業委員会の許可が必要です。その許可要件の一つに許可後の下限面積要件があります。

これまで農地の権利取得にあたっての下限面積は、地域の実情により定めており、豊後大野市では耕作面積が30アール以上なければ農地の取得は出来ませんでした。

しかし今回、農地を「所有」することよりも「利用」することを目的として、下限面積要件は廃止されることとなりました。

令和5年度以降の農地取得要件は、以下の許可要件を満たす人で、申請時に耕作面積がなくても農地の取得が出来るようになります。

許可要件

- ① 農地の全てを効率的に利用すること。
- ② 必要な農作業に常時従事すること。
- ③ 周辺の農地利用に支障がないこと。

豊後大野市農地賃借料情報

令和3年1月から令和3年12月までの1年間に締結された賃借料の水準（10a当たり）は、下表のとおりです。

農地の区分	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)
田	7,800	15,000	3,700
畑	10,800	25,600	4,300

(注) この表の金額は、あくまで賃借料の水準を示したものであり、実際に契約する際の目安や参考となるものです。

1. 賃借料を物納支給（水稻）している場合は、60kg当たり、10,800円（令和3年産ヒノヒカリ1等米価）に換算しています。
2. 金額は、算出結果を四捨五入し、100円単位としています。
3. 「平均額」は、市内のデータ数により加重平均した値です。

農政コラム

農業委員の活動を振り返って



農業委員に選任（任期3年）されて、早いもので残された任期は2カ月余りとなり、この間コロナ禍で農業委員としての活動も相当制約がありました。農地法第3・4条及び5条に基づく農地転用許可に伴う農業者からの相談あるいは地区審査会の現地調査等を地区の農業委員及び最適化推進委員の皆様と意見交換を行いながら検証を進めてきた事は私にとって地区の現状認識を深める上で大変有意義な経験をさせて頂いたので考えております。

更に毎月の定例総会では、市内各地区の農地の権利移動状況を審議・検討する中で、農地の移動実態を把握することが出来たこと及び各地区の農業委員の皆様と交流を深めたことは、私にとって大変貴重な経験になったと考えております。

また、農業者年金の加入推進活動及び非農地判断の現地確認等様々な活動を関係者の皆様と一緒に活動させて頂いたことは、私自身の勉強にもなりましたが農業委員の重要な役割を改めて認識させられたのが実情であります。

（後藤 茂廣）

女性農業委員の登用率が伸びないのは どうして？

10月24日、25日に九州・沖縄ブロック女性農業委員研修会が、3年ぶりに福岡県で開催されました。～今こそ見せよう！女性委員の底力～としたテーマで、八女市における女性委員らが耕作放棄地を利用して特産物を開発した事例発表や、各県の女性登用率の現状報告と課題、女性ならではの活躍方法など、中身の濃い研修会が開催されました。

国は2030年までに女性の登用率目標を30%に掲げていますが、大分県の農業委員は15.3%、推進委員に至っては3.2%という現状です。九州・沖縄各県においても、大きな市ほど女性登用率が低く、少子高齢化の地方では高くなる傾向にあります。人口減少の著しい宮崎県えびの市においては、農業委員10名のうち女性が3名、推進委員では18名の半分の9名が女性です。これは少子高齢化における農村の維持には女性の躍進が必要不可欠であることを示しています。また、女性の候補者探しに苦労している市町村がある一方、やる気のある女性が複数名立候補しても、その団体のトップや選考委員に阻まれたケースの報告も多数あり、まだまだ女性参画が特殊だという気風もみられます。選考基準の統一化や、そもそもの選考委員会への女性の参画など、一朝一夕では解決できない問題もありますが、5月の改選で、目標を達成した豊後大野市農業委員会が誕生することを願ってやみません。

(後藤 綾子)



家族で協力、農業経営



昨年7月15日、衛藤英教農業委員会会長立会の下、関口嘉行・涼香（夫婦）、遠田光司・由美（夫婦）、後藤博幸・裕美・竜聖（親子）、羽田野洋朗・天輝（親子）、衛藤徹哉・拓己（親子）、津高栄治・悟枝・大地・駿（親子）の家族経営協定調印式が開催され、代表で関口嘉行さんが決意表明しました。



昨年10月3日、衛藤英教農業委員会会長立会の下、川上京一・富久美・大地（親子）、衛本宏貴・理絵・太一（親子）の家族経営協定調印式が開催されました。

今後のご活躍をお祈りします！

「家族経営協定」とは …

家族で取り組む農業経営について、家族全員が意欲とやりがいを持って経営に参画できる魅力的な経営を目指すために、経営や生活・将来の目標（経営の目標・役割分担・収益の配分・生活上の諸事項など）について、家族みんなで話し合い、確認したことをルール化して調印することです。また、農業者年金の保険料助成や各種支援制度が受けられるなどメリットがあります。

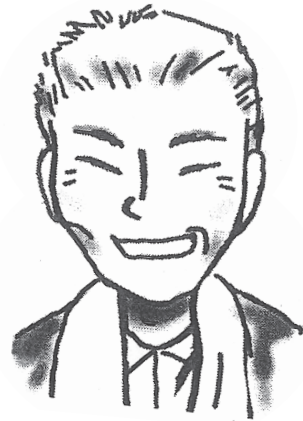
農業者年金

受給者の声

親父が入っちゃって、経営移譲するのにわしも加入したんじゃ。10年くらい払って65歳から貰うようになったんじゃけど、新制度になってからも農業者年金に入り直して本当に良かったと思うよ。そりゃあ、助かるわなあ。あの時は女性が入れるなんか知らなかったけん。知っちゃったら、少しはおかあちゃんにもかけといたんじゃがなあ。ほんと、知ったらいい制度で。みんな知らんけん入らんのじゃ。国庫補助は個人的には勧めんけど、少額でも早く、長く入った方が得じゃわな。まずは、どんな制度か聞いてみらんな？

そりゃあ、国民年金だけじゃ足りんで〜。

早めに農業者年金を上乗せしとったら安心で！



朝地町の牛飼いとシイタケを栽培している70歳のOさん。

《農業者年金の加入資格》

- ◆ 年間60日以上農業に従事する
- ◆ 国民年金の第1号被保険者（国民年金の保険料納付免除者を除く）
- ◆ 20歳以上60歳未満の方

この要件を満たせば、農業経営者はもとより、配偶者や後継者などの家族、農業従事者、農家のパートさん、自営業との兼業農家も加入することができます。また、農地の利権名義を持たない施設経営や畜産経営の農業者さんも加入することができます。

詳しくは、農業委員会事務局までお問い合わせください。



農業委員、農地利用最適化推進委員で視察研修等に行ってきました

視察研修



11月22日は、別府市で開催された「令和4年度農地利用集積・最適化推進大会」に参加。翌23日は、国東市に行き「上原農園株式会社」のネギと、「ウーマンメイク株式会社」のレタスなどの葉物野菜、ともに大型ハウスでコンピューター制御された水耕栽培施設を見学しました。上原農園はネギを日本全国に販売し、「人材育成」で若手農業者を積極的に育てており、また、ウーマンメイクは女性社長と女性従業員で、女性が輝く農業を目指している会社でした。先駆的な取り組みに、ただただ感嘆するばかりでした。

(渡邊 丸美)

豊後大野市農業委員会だより 第28号 発行：豊後大野市農業委員会 大分県豊後大野市三重町市場 TEL 0974 (22) 1001

ふるさとの大地を守る!

若き鉄人たち



今回は、三重町のあっきらきら農園長、あかみね まさよし 赤嶺正義さんを紹介します。

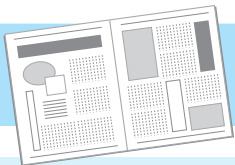
あっきらきら農園は、いちご狩りはもちろん、パフェや苺クロワッサンが超人気の農園カフェのある苺農家さん。かわいい Mascot キャラクター『きら子ちゃん』は豊後大野の市民なら一度は目にしたことがあるはず。

2005年に父の昭さんが苺農家に。2013年にIT系の仕事から脱サラした正義さんも加わり、苺の加工販売にも力を入れ始める。圃場面積は県南最大規模の60アール（ハウス16棟）。従業員数は繁忙期には十数人。

「僕ならスマート農業ができるんじゃないかな。と思って始めた農業だけど、農業ってそんなに簡単じゃないことに身をもって知らされました。」と語る正義さん。「大分県の指導のおかげで、しなきゃ

いけない作業はわかるけど、いかにやりこなすか…大規模になると家族だけでは難しいので、どのように人材を集め、組織化していくか悩みました。その解決策として、子育てママさんに合った働き方や、A・B型就労支援施設との農福連携で人材確保を行い、作業の細分化・簡略化で、みんなでできる農業を目指しました。2018年にはハウスを拡大し、現在4万本の苺生産をしています。また2016年から、6次産業化として苺アイスなどの加工品製造や、いちご狩り・カフェ事業を展開した観光農園化など、あっきらきら農園のブランディングに取り組んでいます。いずれも未経験の分野でしたが、販売先のバイヤーから多く勉強させてもらい、現在に至っています。昨シーズンは約3万人の来園者があり、多くのお客様に笑顔をいただきました。今後も皆様の期待に応えられるようなサービスを提供し、農業ビジネスによる地域貢献を行っていきたいですね。」

まだ行ったことのない方、ぜひ行ってみてね! (後藤 綾子)



全国農業新聞を購読しませんか?

全国農業新聞は、「暮らしと経営」に役立つ情報をお届けします。農業に関する最新技術・新製品や新品種、全国各地で活躍する農業者の工夫やアイデア等、農業に役立つ情報を紹介しています。

■金曜日発行 / 月700円
■年間 / 8,400円 (消費税込)

●購読の申し込みは お気軽にご連絡ください。

豊後大野市農業委員会事務局へ!

☎ 0974-22-1001

1週間に1度、農業・農政情報をお届けします。

第28号編集委員

委員

三宮 憲
渡藤 幸丸
木邊 滋
後村 綾一
三藤 忠茂
後藤 子佑
藤代 茂
廣

河川氾濫による爪痕、水田の水害被害が深刻化する中、農業委員会事務局は、農業者の安全確保と、農産物の加工・販売の促進を図るべく、積極的に取り組んでいます。また、地域活性化の観点から、観光農園の整備や、いちご狩り・カフェ事業の展開にも力を入れています。今後も皆様の期待に応えられるよう、積極的に取り組んでまいります。

編集後記

農地に関するご相談

地域の農業委員、農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局へ!
■豊後大野市農業委員会事務局 TEL.0974(22)1001 内線2380~2383